

第2章 特集「第34回全国都市緑化はちおうじフェア」

第34回全国都市緑化はちおうじフェアは、八王子市市制100周年記念の中心的事業として、「自然とまちと人を結ぶ『みどりの環境調和都市』」をテーマに平成29年9月16日から平成29年10月15日までの30日間にわたり開催しました。

「花とみどり溢れる文化的なライフスタイルの体験」をコンセプトに、「ガーデニング」や「食」、「アウトドアスポーツ」をはじめとする様々な楽しみや学びが体験できる「参加体験型」のフェアとして、花とみどりの中で楽しめる様々なイベントを提供し、来場者は想定入場者40万人を大きく上回る703,416人となり、来場を契機として多くの方に花やみどりへの関心をもていただくことができました。

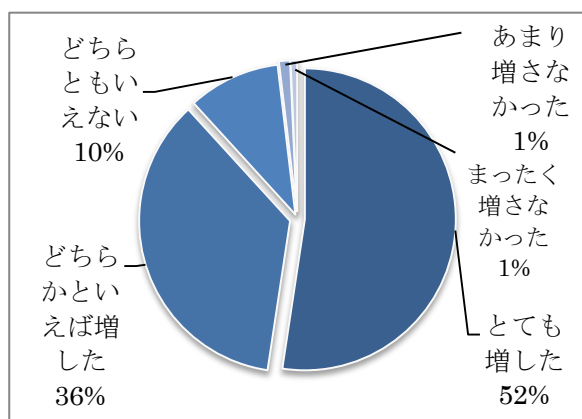


メイン会場入り口

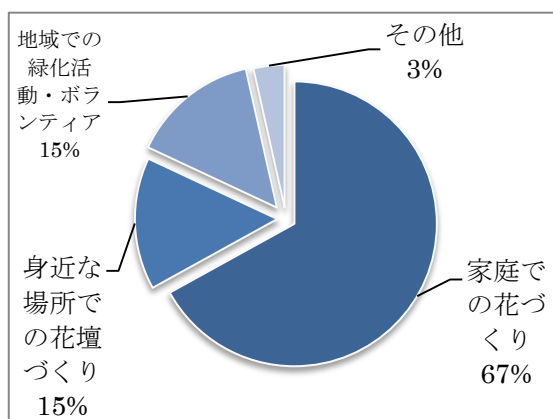


八王子100周年アーカイブガーデン

花みどりへの関心度



来場をきっかけに始めてみたいこと



メイン会場来場者アンケートより

全国都市緑化フェアは、都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として毎年開催されている国内最大級の花とみどりの祭典です。30年度は山口県、31年度は長野県での開催が決定しています。

フェアの会場は、富士森公園をメイン会場とし、市内の6地域（エリア）に設けたサテライト会場や市内で活動する団体や個人、地域が協働する場所、市立小中学校を対象としたスポット会場により構成しました。特にサテライト会場は、地域の魅力や特徴をテーマに据え、「修景アドバイザー」の指導のもと、地元の町会・自治会や公募市民等による「地域運営部会」がシンボル花壇の制作やイベントの運営を実施しました。

【サテライト会場の修景（写真はフェア期間中のものです）】

中央エリア「にぎわいを彩る」



北エリア「農と歴史がふれあう里」



西エリア「森とふれあう」



西南エリア「水とふれあう」



東南エリア「秋をたのしむ」



東エリア「みどりも人も育つ街」



第34回全国都市緑化はちおうじフェアの開催を契機とし、テーマである「自然とまちと人を結ぶ『みどりの環境調和都市』」の実現を目指し、花とみどりの担い手づくり、花とみどりのある景観形成に今後も取り組んでいきます。